

# 平成28年度 コミュニティ・スクール別府市連絡会

平成28年11月11日(金)

15:30~17:00

於:市役所1階レセプションホール

別府市教育委員会

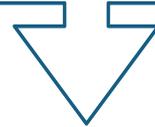
# コミュニティ・スクールの現状等と 別府市が目指す方向性について

- 1 学校運営協議会について
- 2 全国の現状（文科省調査より）
- 3 大分県の現状（県教委調査より）
- 4 別府市における成果と課題
- 5 別府市が目指す方向性について
- 6 実践報告について

# 1 学校運営協議会について

地域内のつながりの希薄化 貧困問題 など

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題の複雑化・困難化



社会総掛かりでの教育の実現が不可欠ではないか



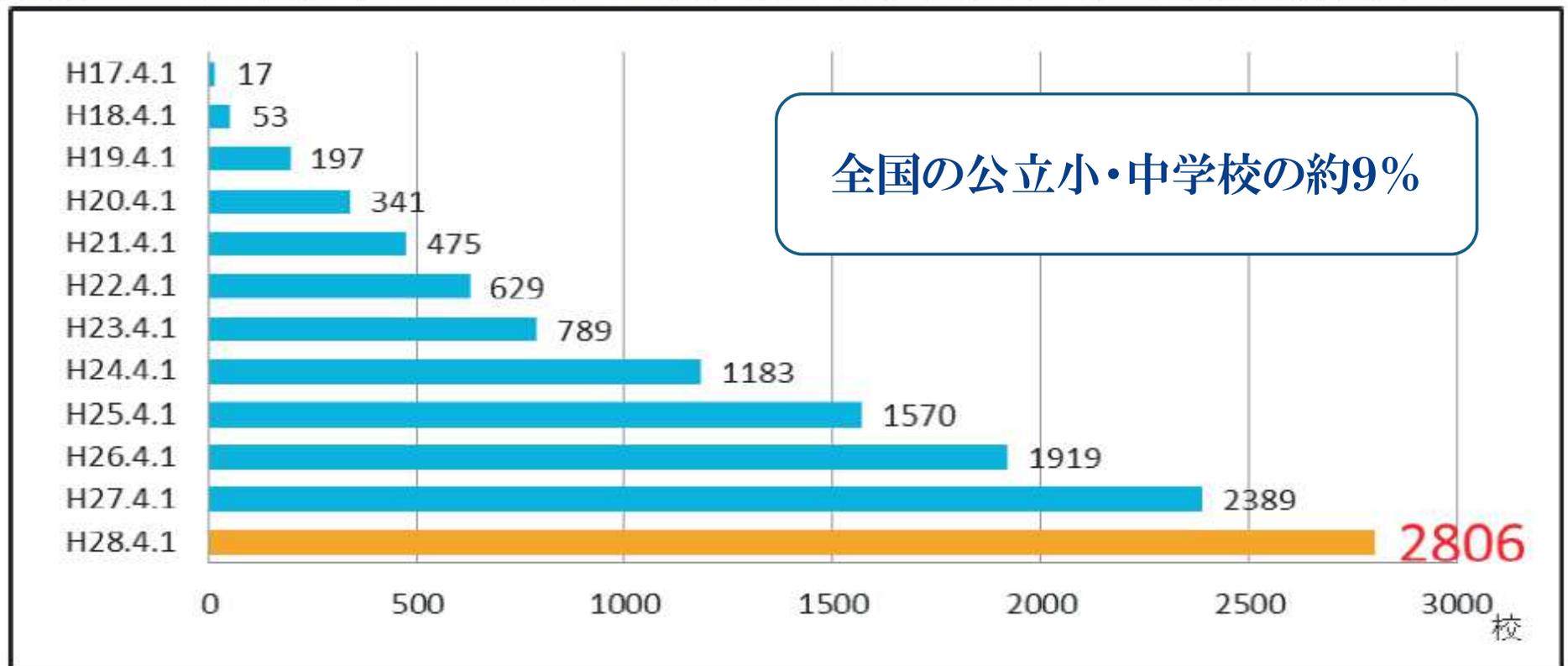
どのような子どもを育てるかという目標やビジョンを学校と地域住民等で共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へ転換

**「学校運営協議会」の設置**  
(コミュニティ・スクール指定)

## 2 全国の現状

### コミュニティ・スクールの指定状況

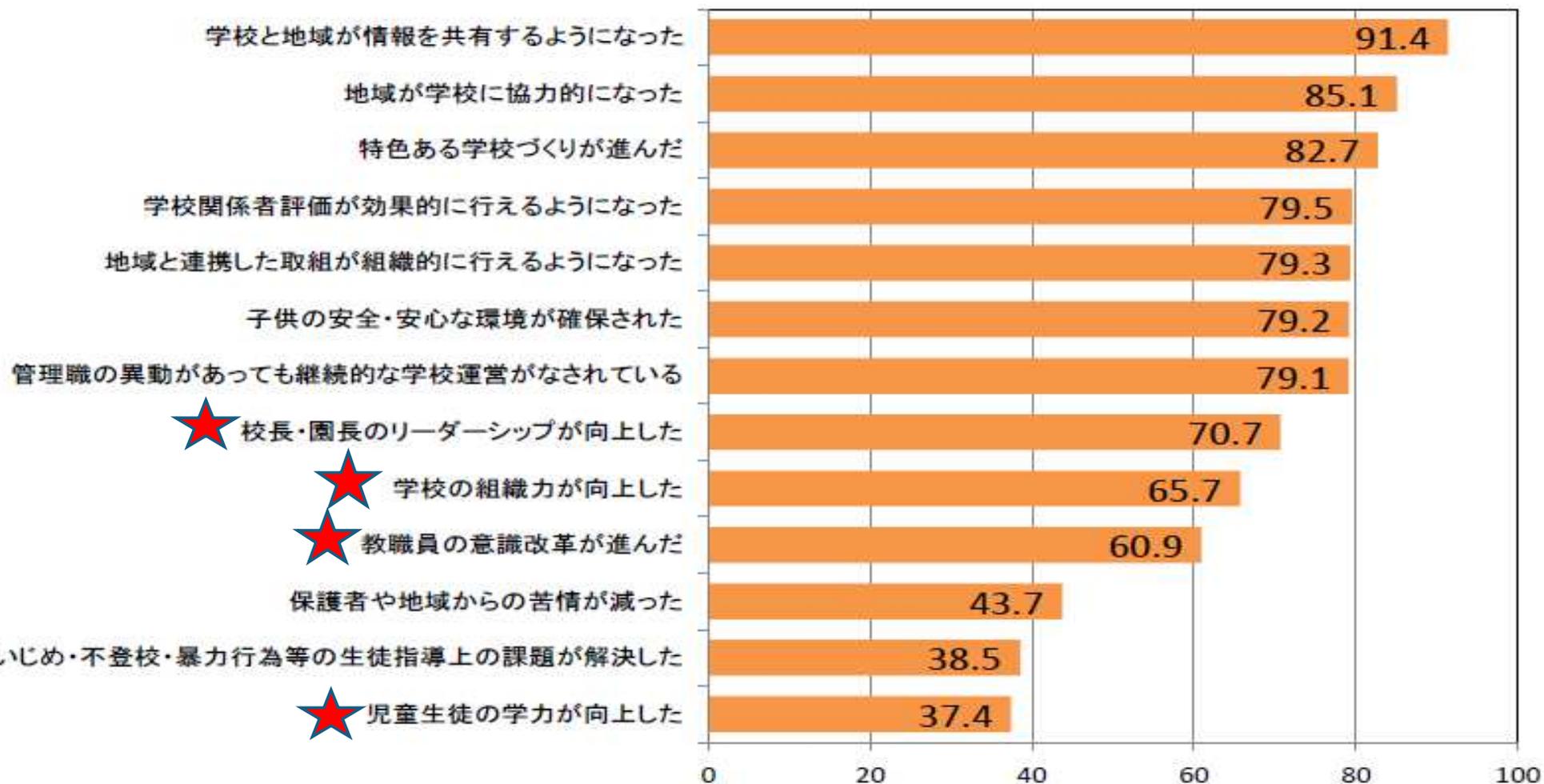
コミュニティ・スクール：46都道府県内 2,806校（平成28年4月1日現在）  
（幼稚園109、小学校1,819、中学校835、義務教育学校7、高等学校25、特別支援学校11）



## 2 全国の現状(成果)

### 成果

コミュニティ・スクールに指定された学校では、地域連携に関する成果のみならず、教職員の意識改革や、学力向上・生徒指導の課題解決においても、**成果**を認識しています。



出典「コミュニティ・スクールの実態と校長の意識に関する調査」(平成27年度文部科学省委託調査)

## 2 全国の現状（課題の解消）

コミュニティ・スクールの指定経験の長い学校で、成果の認識が高くなる傾向があります。

CS  
指定

### 【短期的成果】

- ・ 学校に対する保護者や地域の理解の深まり
- ・ 学校と地域が情報共有
- ・ 教職員の子供と向き合う時間の増加
- ・ 教職員の意識改革

### 【中期的成果】

- ・ 保護者・地域による学校支援活動が活発に
- ・ 地域が学校に協力的に
- ・ 学校関係者評価が効果的に実施
- ・ 特色ある学校づくり
- ・ 地域連携の取組が効果的に
- ・ 家庭の教育力が向上

### 【長期的成果】

- ・ 学校が活性化
- ・ 地域が活性化
- ・ 保護者が学校に協力的
- ・ 児童生徒の学力向上
- ・ 生徒指導の課題解決
- ・ 児童生徒の学習意欲の向上
- ・ 地域教育力の向上
- ・ 保護者や地域からの苦情の減少
- ・ 適切な教職員人事が実現

# 3 大分県の現状

(平成28年実施「芯の通った学校組織」定着状況調査より)

調査対象:全公立学校長、主幹教諭、教務主任及び保護者(PTA会長)等

## ➤ コミュニティ・スクールの導入状況

導入済み:小25%・中34%

導入予定:小24%・中28%

**合計:小49%・中62%**

### 3 大分県の現状（保護者の意識）

- 保護者の多く（小8割・中9割）が「大分の教育は、より良くなっていると思う」と回答

#### 主な理由

- 学力向上、体力向上等具体的な取組の成果が出ている。
- **学校、家庭、地域が連携・協働して取り組む体制**ができつつある。

# 4 別府市における成果

(平成27年度CS推進委員会報告書より)

**ボランティア数の増加(10校)**

**コミュニティ・スクールの周知が進んだ(8校)**



- 学校だより、CSカレンダー等を作成、掲示
- 自治会等の地域会議への参加
- 中学校区での共通の取組

# 4 別府市における課題

(平成27年度CS推進委員会報告書より)

- ☀️ 取組を計画、立案、実働する幅広い組織の構築(9校)
- ☀️ 教職員や一般の保護者、地域住民への一層の周知・情報提供(12校)

# 5 方向性について

## 「地域の子どもは地域で育てる」の実現に向けて

- ① 各学校の課題を委員の方に知っていただく
- ② 学校、保護者、地域のそれぞれの立場で解決の方法を考える
- ③ 各委員が課題解決に向けて、それぞれの立場で主体的に行動（協力者を増やす、関係組織に依頼する等）を起こす



＜質の高いより良い教育の実現＞

＜家庭・地域の教育力の活用＞

＜コミュニティづくりに寄与＞

につながっていく

## 6 実践報告について

### ◎報告内容の柱

- ①学校課題の共有に関する事
- ②課題解決に向けての方法や行動に関する事
- ③CSの啓発に関する事